



















# TOTO

## オストメイト対応トイレパック

電気温水器付 UAS61ADW  
電気温水器なし UAS61AW

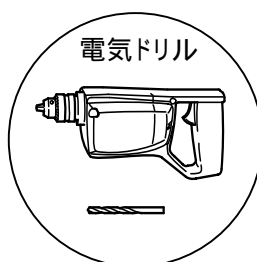
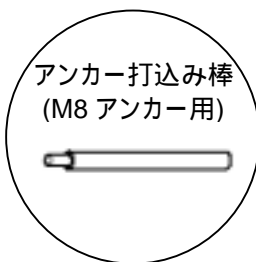
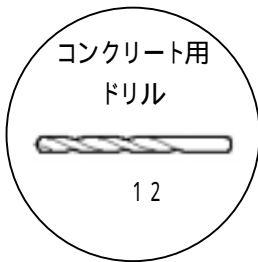
製品の機能が十分に発揮されるように、この施工説明書の内容にそって正しく取り付けてください。  
取付け後は、お客様にご使用方法を十分にご説明ください。

### 安全上のご注意（安全のために必ずお守りください）

 <b>警告</b>	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、『人が死亡または重傷を負う可能性が想定される』内容を示しています。		この表示は、してはいけない「禁止」内容を伝えるものです。
 <b>注意</b>	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、『人が傷害を負う可能性が想定される内容及び、物質的損害の発生が想定される』内容を示しています。		この表示は必ず実行していただく「強制」内容を伝えるものです。
 <b>警告</b>	 機器の設置は専門業者が行う。また、電気工事は関連する法令・規則にしたがって有資格者(電気工事士)が行う。(火災や感電・漏水のおそれがあります。)		取付部には所定の下地を設ける。(固定強度不足のため、ケガや壁の破損が生じるおそれがあります。)
	 アース工事(D種接地工事)を行う。(火災や感電などのおそれがあります。)		交流100V以外の電源やゆるんだコンセントで使用しない。(火災・感電の原因となります。)
	 浴室など湿気の多い場所には設置しない。(感電のおそれがあります。)		スイッチやコンセント部及び端子台などの電気製品に水をかけたり、ぬれた手でさわらない。(感電や故障の原因となります。)
	 屋外及び傾斜のあるような壁面、振動の激しい場所には取付けない。(取付けが不安定になり、落下してケガやときに死亡のおそれがあります。)		電気関連部品の保守点検を行う場合は、感電防止のため必ず充電源(分電盤ブレーカーもしくは、コンセントを抜く)を切って作業を行う。
 <b>注意</b>	 壁への固定が完了するまで、十分注意する。また、各部の固定がゆるんでいないことを確認する。(倒れやすく、使用中に落下してケガをするおそれがあります。)		各器具の補修を行う場合は、漏水防止のため、必ずパイプシャフト内の元バルブも締めて作業を行う。
	 工事完了後、給排水管から漏水がないか確認する。(周辺に損害を与えるおそれがあります。)		甲板の上に乗ったり、重いものを乗せない。(故障やケガの原因となります。)

## 工具・部材

一般水道工事に使う工具以外に、下記の工具・部材をご用意ください。



設備側配管とのつなぎ込みに使用します。

上水管：VLP25A(フラッシュバルブ用)

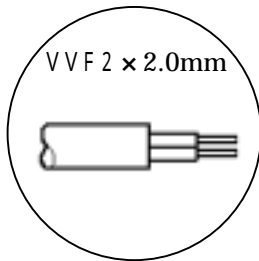
VLP15A(電気温水器用)、

(フラッシュバルブ、及び止水栓との接続部  
には異種金属接続用をご使用ください。)

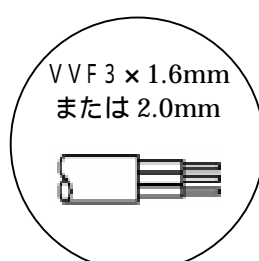
エルボ、ユニオンなど

排水管：VP75、DL75

数量：設置現場の状況に合わせ適宜



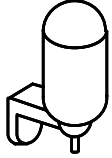
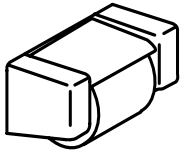
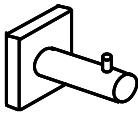
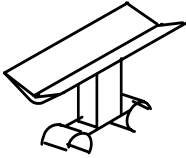

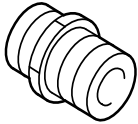
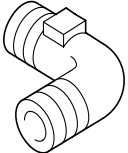
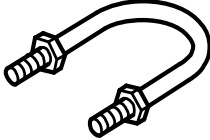
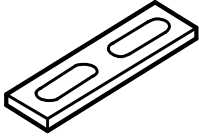

フラッシュバルブ  
端子台用

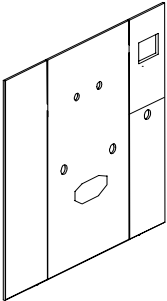
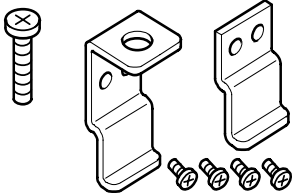
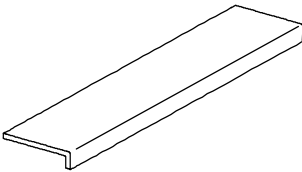
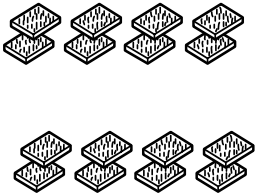


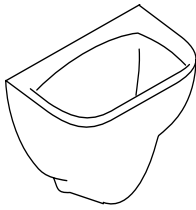
電気温水器用

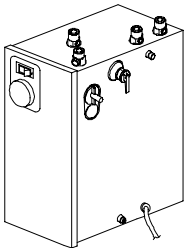

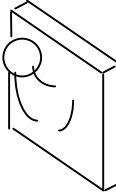

部品の確認

本体部セット				
フレーム	グリップアッカー M8	六角ボルト	ナット(座金付)	角座金 M8
	 × 9	 × 9 (50mm) × 5 (80mm)	 × 9	 × 4
	ワッシャー	コーチねじ	各座金 M6	テクス 4×10
	 × 5	 × 5	 × 5	 × 20
施工説明書・ 取扱説明書	塩ビライナー	幅木	幅木補強材	ボンド G17
	 0.5mm・1mm・ 3mm		 × 2	
フレキ管		L継手	固定アングル	膨張水排水金具
	電気温水器付 L=400 : 3本 L=500 : 1本  電気温水器なし L=500 : 2本	 × 4		
スレート形止水栓	洗浄管(フレーム内)	洗浄管(陶器側)	洗浄管カバー	スパッド
				
バックハンガ	排水フランジ	タッチスイッチ	タッチスイッチコード	シャワー金具
				

本体部				
水石けん入れ	紙巻器	シングルフック	シャワーレスト	小ねじ 4 × 12
				 × 4
1/2 ニップル	1/2 オスエルボ	Uボルト+ナット M6	絶縁シート	フラッシュバルブ
 × 2	 電気温水器付 のときのみ			

仕上げ材部			
前面板セット			
前面板一式	前面板取付金具一式	甲板	マジックテープ
			

陶器
壁掛汚物流し


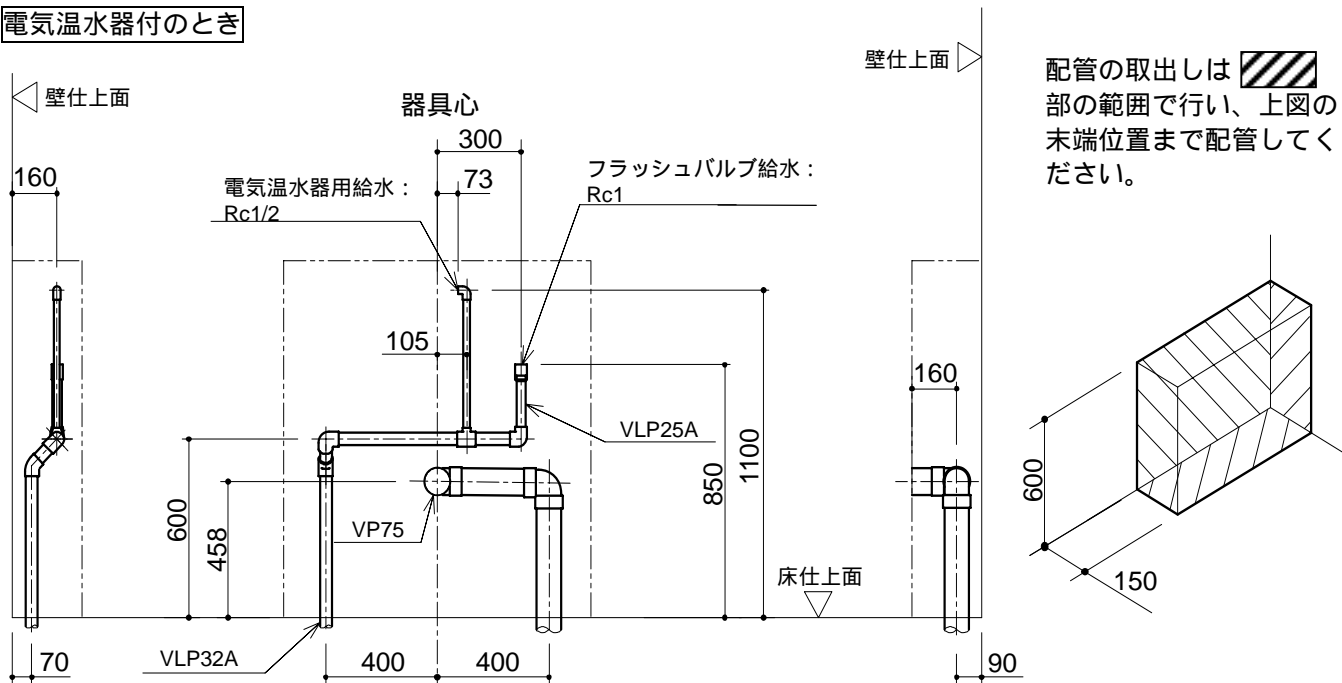
陶器・電気温水器			
電気温水器	注意シート	フック	タッピン 4 × 8
			 × 2

## 取 付 前 の 準 備

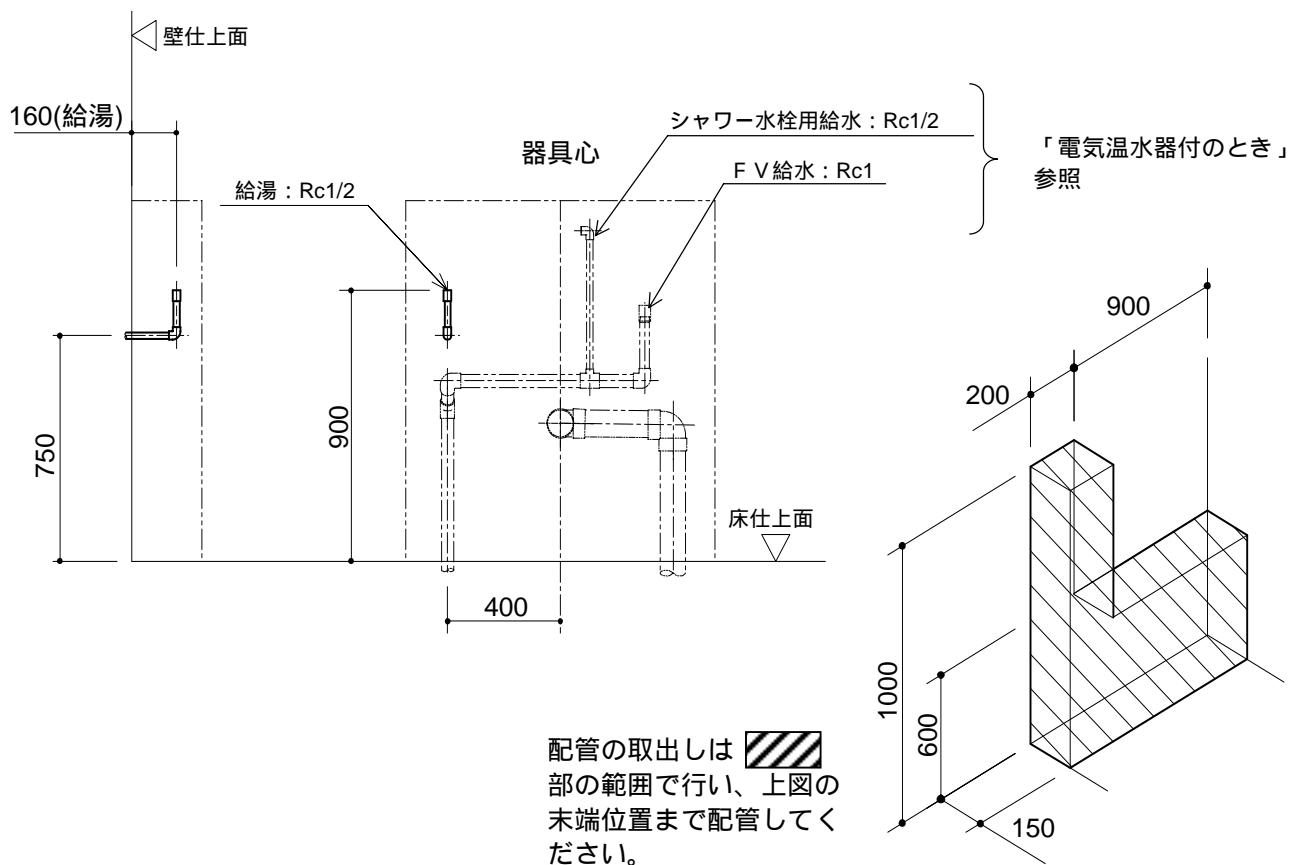
### 配管工事

- ・電気温水器、フラッシュバルブ、排水フランジまでの配管工事を行ってください。  
つなぎこみ位置までの配管経路については、現場での制約条件等により、お客様にて計画ください。下図、および商品図にその1例を図示致します。
- ・つなぎ込みのためのエルボ・ユニオン等はお客様にてご用意下さい。
- ・フラッシュバルブ・止水栓に接続する継手は、異種金属接続用をご使用ください。

#### 電気温水器付のとき



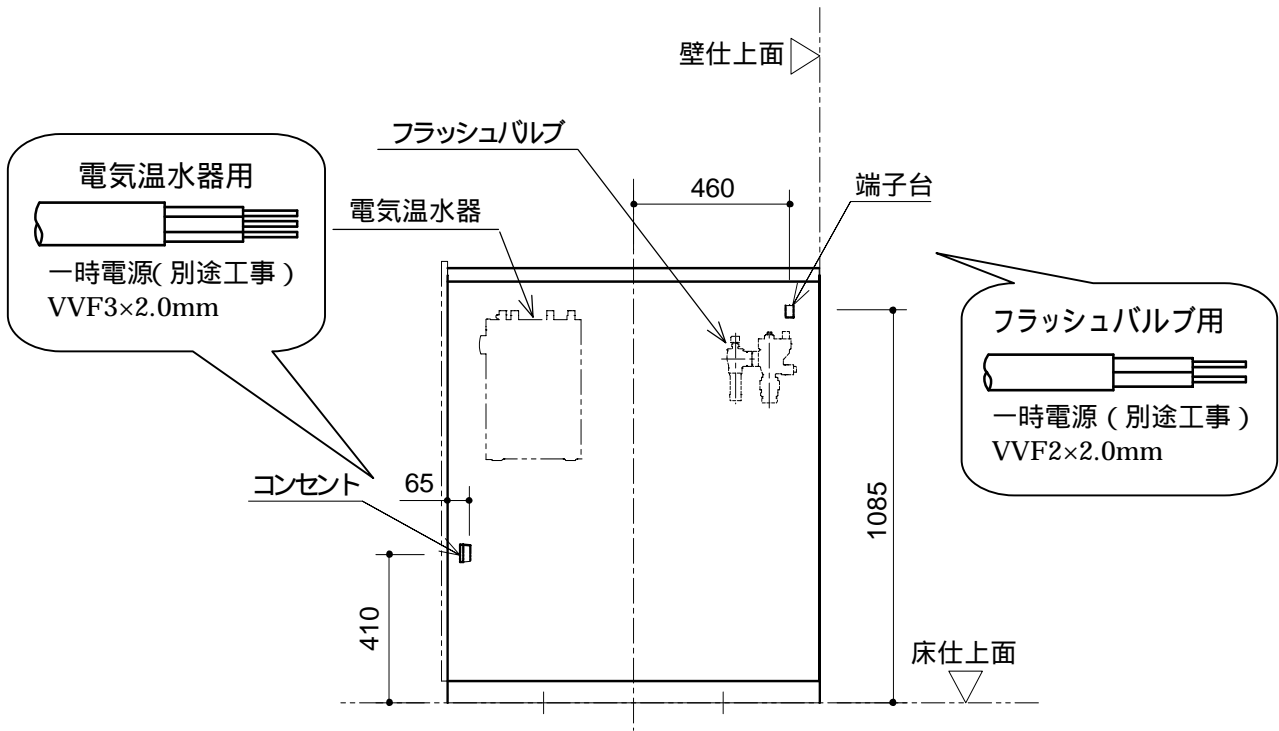
#### 電気温水器なしのとき



・1次側電源までの配線

1次側電源までの配線は、フラッシュバルブ用は端子台(2芯)に、電気温水器用は1口コンセント(3芯)に接続します。

電源コードは1m以上の余裕を見て配線ください。



取付下地の確認、固定部材の準備

取付下地を確認し、固定部材を準備します。

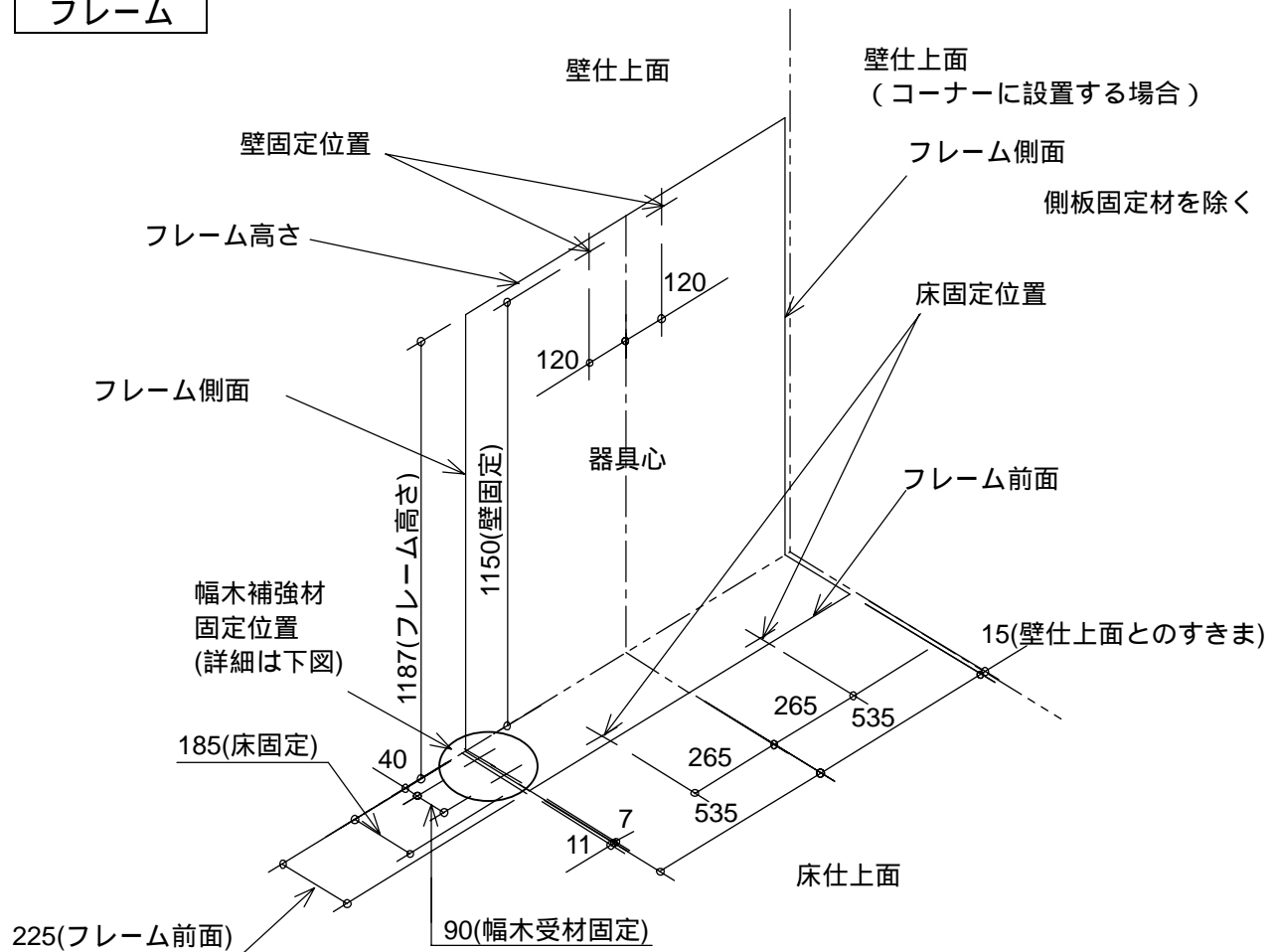
**チェック** 取付下地に応じた固定部材を準備してください。

[壁]下地		[壁]固定部材	
コンクリート (仕上厚 35mm 以内)		グリップアンカー M8 (下穴 12、深さ:仕上厚+40mm)	同梱
鋼製下地+耐水合板 (t12 以上)		コーチねじ:呼び径6	同梱
A L C		ALC アンカー M8 (下穴 14.5、深さ:仕上厚+65mm)	UTR805 (オプション)
[床]下地		[床]固定部材	
コンクリート (仕上厚 35mm 以内)		グリップアンカー M8 (下穴 12、深さ:仕上厚+40mm)	同梱

上記以外の下地の場合、別途現場で固定部材を用意してください。

取付下地などに不具合があった場合は責任者の方と調整し、解消後に取付けてください。

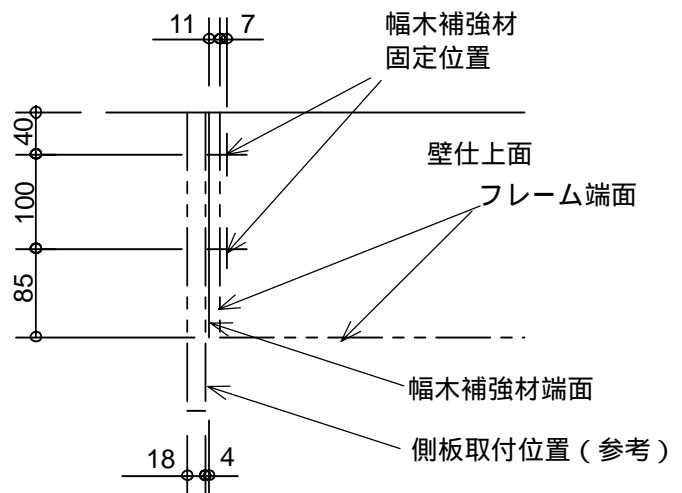
フレーム



幅木補強材

側板 (別売品) を取付ける箇所に取付けます。

・図はパッキンの左側に取り付ける場合の例を示しています。  
右側に取り付ける場合はこの場合と左右反対になります。



# STEP 2

## 壁・床固定用アンカーの打込み

### 床固定



STEP1の「墨出し」に従い、振動ドリルで下穴を開けます。

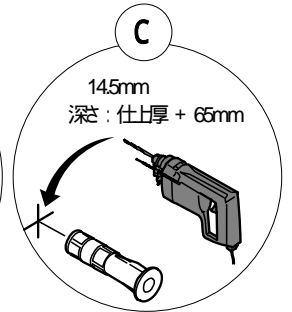
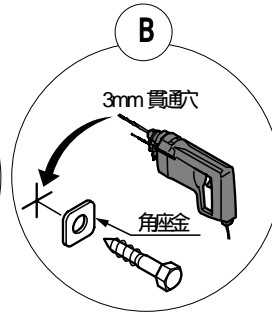
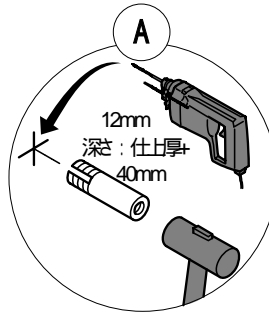
ダストポンプで穴の中の砂を取り除いて、グリップアンカーをセットします。

アンカー打ち込み棒で打ち込みます。

### 壁固定

壁下地の種類に応じ、以下の方法にて壁固定を行ってください。  
固定材については、「取付下地の確認、固定部材の準備」を参照ください。

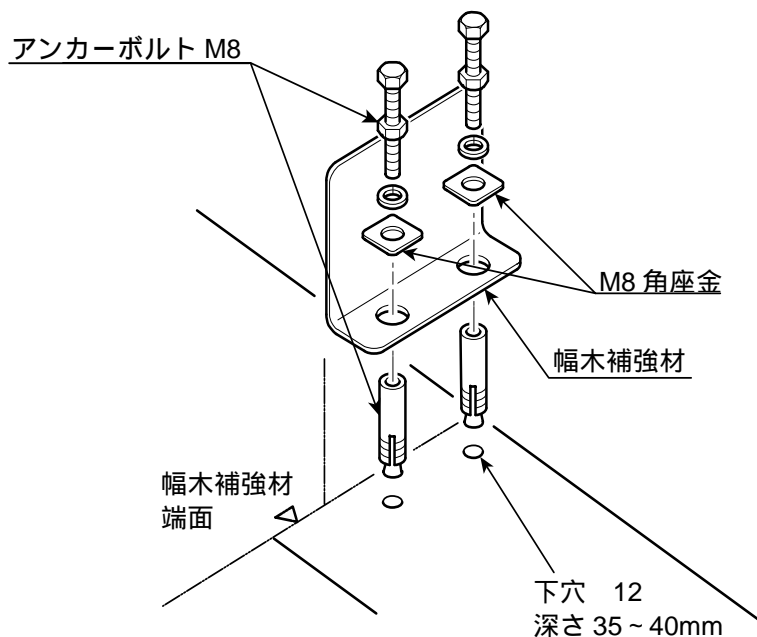
[壁]下地	方法
コンクリート (仕上厚 35mm 以内)	A
鋼製下地+耐水合板 (t12 以上)	B
ALC	C



グリップアンカーは穴あけ後、ダストポンプを使用して必ず穴の中の切粉を除去してから打込まないと、所定強度を発揮できません。

# STEP 3

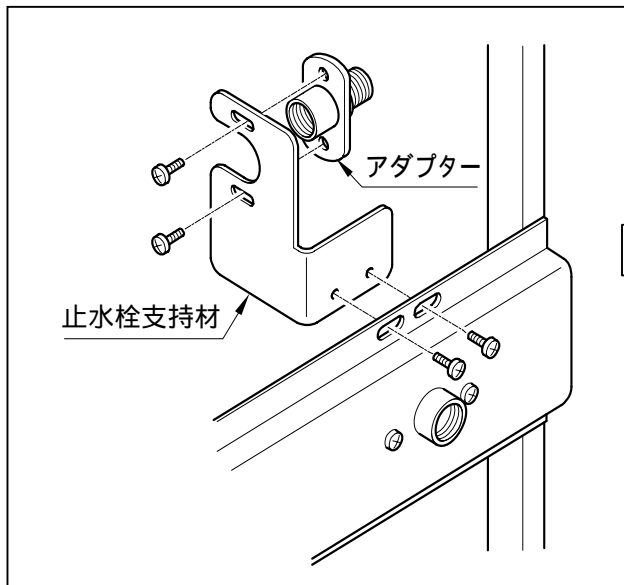
## 幅木補強材の取付け



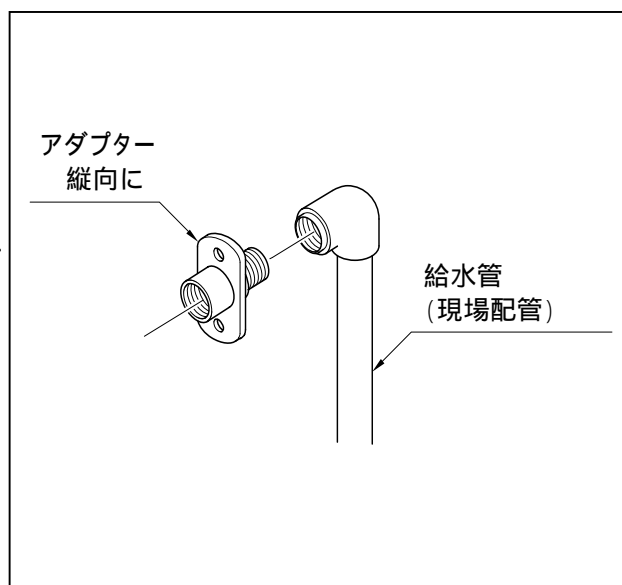


## STEP 4

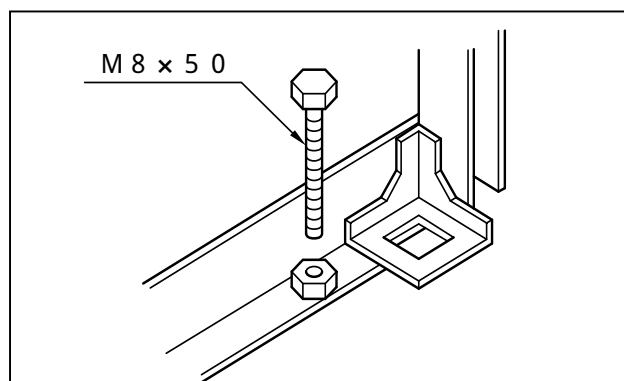
## ケーシングの取付け



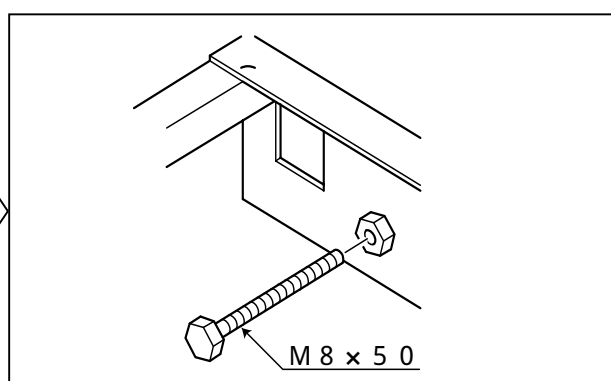
- ・ 止水栓支持材とアダプターを取外します。  
取外したビスはなくさないよう、止水栓支持材に仮付けしておいてください。



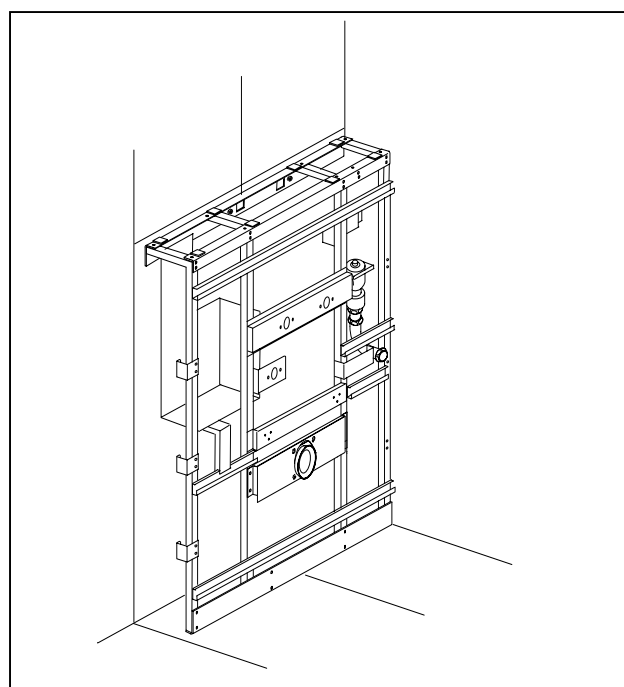
- ・ 事前準備で施工した給水管の末端に、アダプターを接続します。



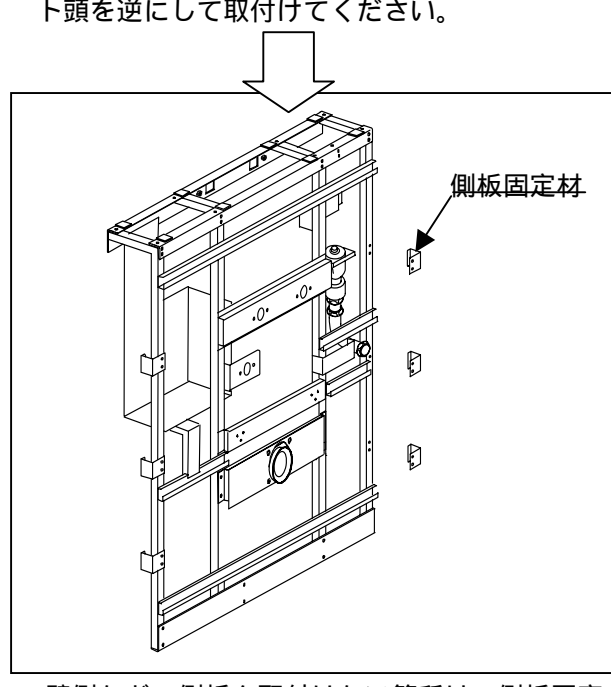
- ・ 床調整ボルトを取付け、



- ・ 壁調整ボルトを取付けます。  
下地が石膏ボード等、やわらかい場合は、ボルト頭を逆にして取付けてください。

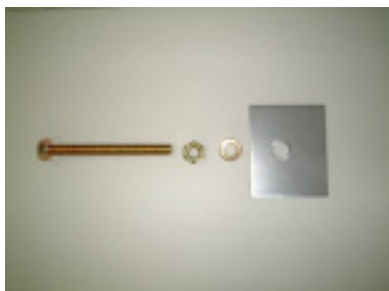


- ・ 墨の位置に合わせ、フレームを取付けます。



- ・ 壁側など、側板を取付けない箇所は、側板固定材を予め除去します。

壁・床固定材の取付



ボルト頭 ナット ワッシャー  
座金の順に組んで



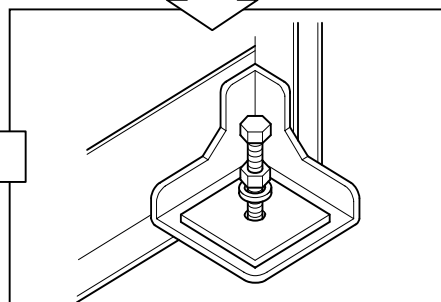
ケーシングの角穴を通し、壁固定  
アンカーに接合します。



床調整ボルトを回して水平が出る  
ように調整します。



壁調整ボルトを回して倒れないよ  
うに調整し、



床固定部も同様に行います。



壁とケーシングとの隙間は  
10mm が基本となりますが、  
壁の倒れに応じ調整ください。



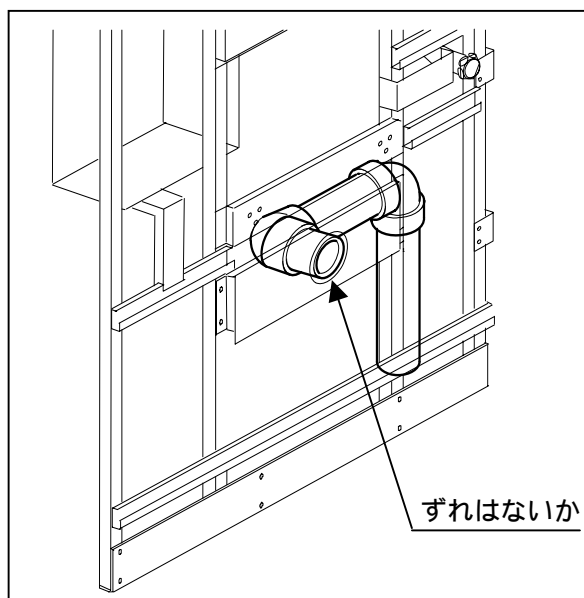
本固定します（壁固定）。



（床固定）

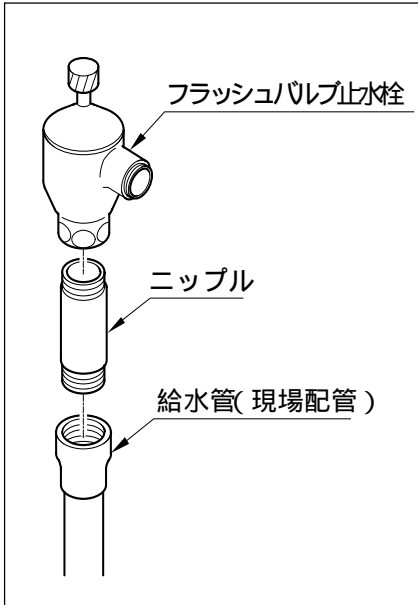
**チェック**

事前準備で施工した排水管の心の位置  
と、設置したフレーム開口とでずれがない  
ことを確認してください。

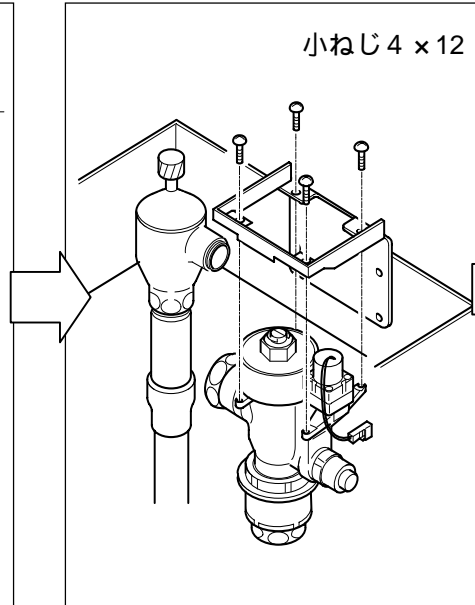


# STEP 5

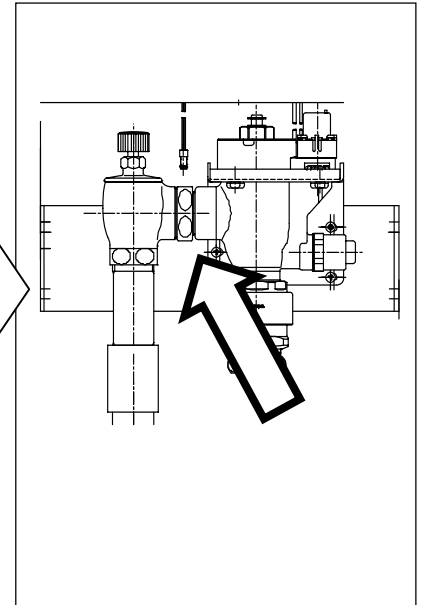
## フラッシュバルブの取付け



・フラッシュバルブ止水栓と給水管を、同梱のニップルを介して接続します。



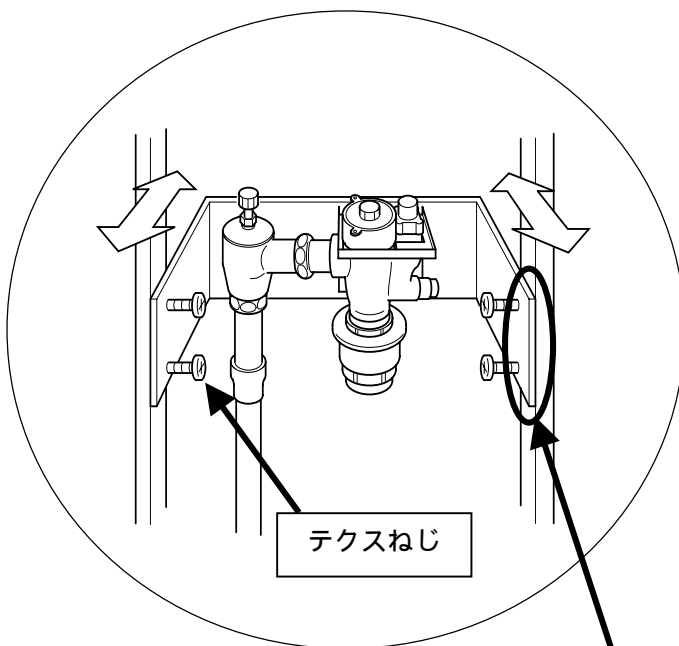
・フラッシュバルブ本体を、フレームのフラッシュバルブ固定部に固定します。



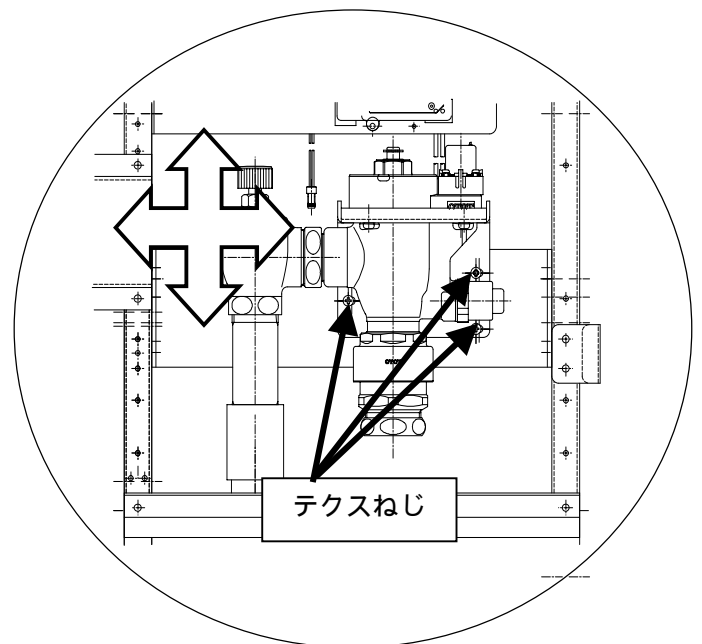
### フラッシュバルブの位置を調整したい時

- ・支持材を止めているねじを外し、位置を変更します。
- ・変更後の位置で支持材の下穴に合わせて、フレーム本体に同梱されているテクスねじで支持材を固定し直してください。

奥行き方向調整時



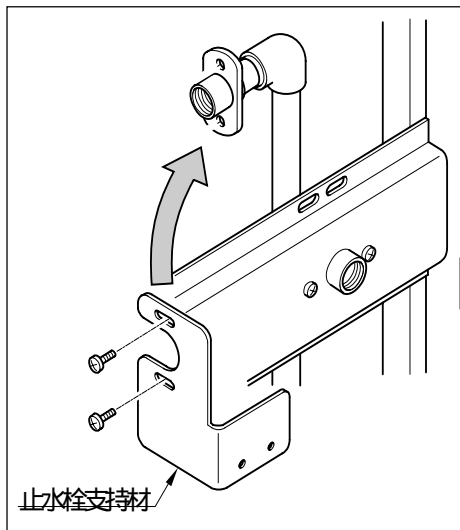
上下、左右調整時



4つの下穴の内、上下2ヶ所いずれかを使用してください。

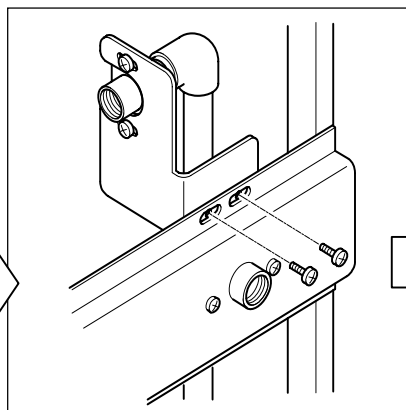
# STEP 6

## 止水栓の固定

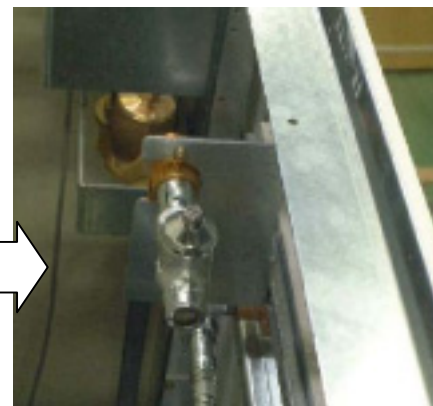


止水栓支持材

・止水栓支持材を取付けます。



・配管とフレームの高低差などで、支持材がうまく取付かない場合は、同梱のテクスねじを使って固定してください。



・同梱の止水栓を取付けます。開閉ねじが上に向くように取付けます。

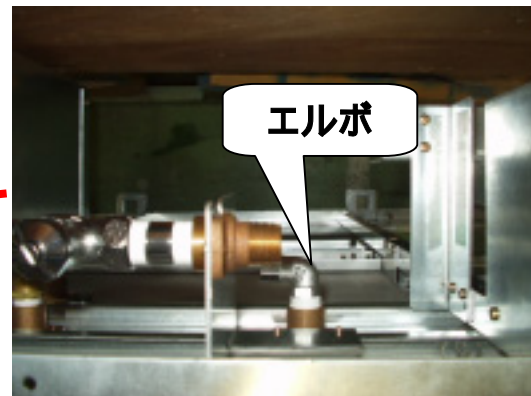
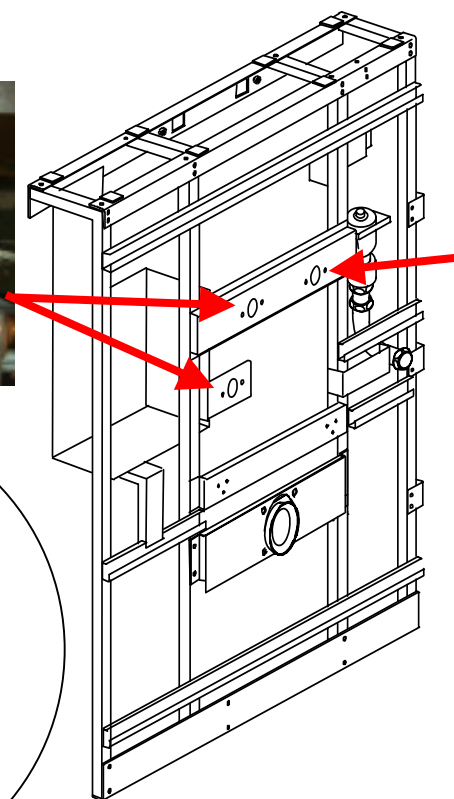
# STEP 7

## エルボ・ニップルの取付け

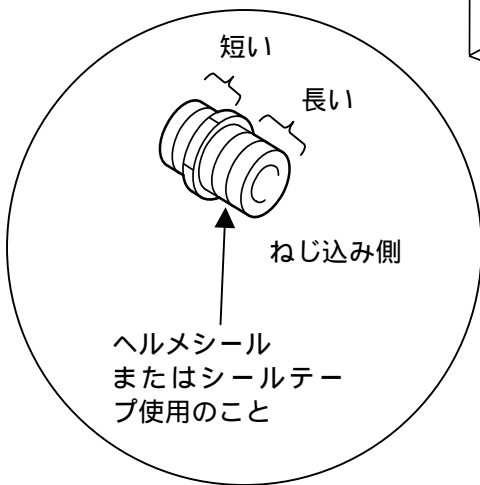
・フレーム裏側から、ニップル・エルボを取付けます。



ニップル



エルボ

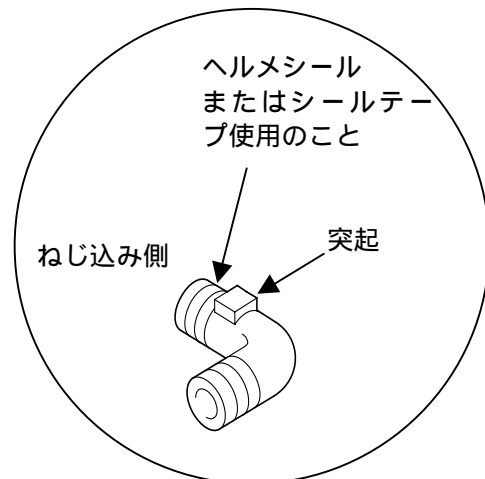


短い

長い

ねじ込み側

ヘルメシール  
またはシールテー  
プ使用のこと



ねじ込み側

突起

ヘルメシール  
またはシールテー  
プ使用のこと

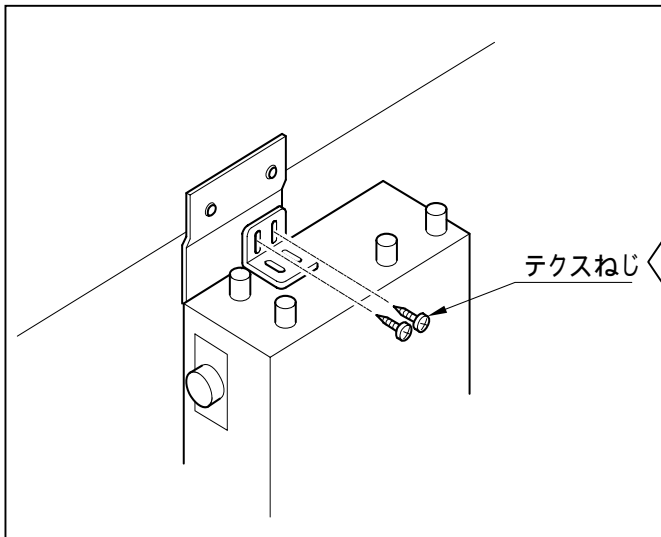
# STEP 8

## 電気温水器の取付け (電気温水器付の場合)

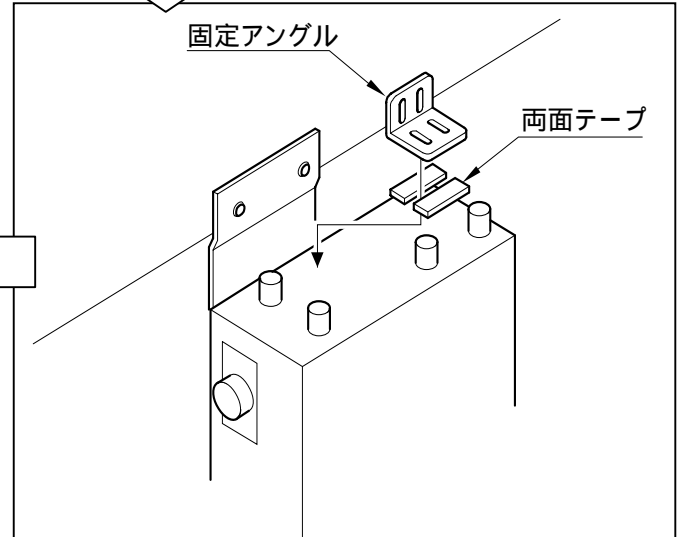


### 必ず実行

温調ハンドルを最高温度側いっぱい(75 )に回しておいてください。  
(そうしないと使用时、十分な湯量が得られないことがあります。)



・テクスねじで、電気温水器支持材に直接タッピングします。  
貫通したテクスねじが長すぎて後ろの壁に当たる場合は、下穴のみ開けて、電気温水器に同梱のタッピンねじ4×8にて固定ください。

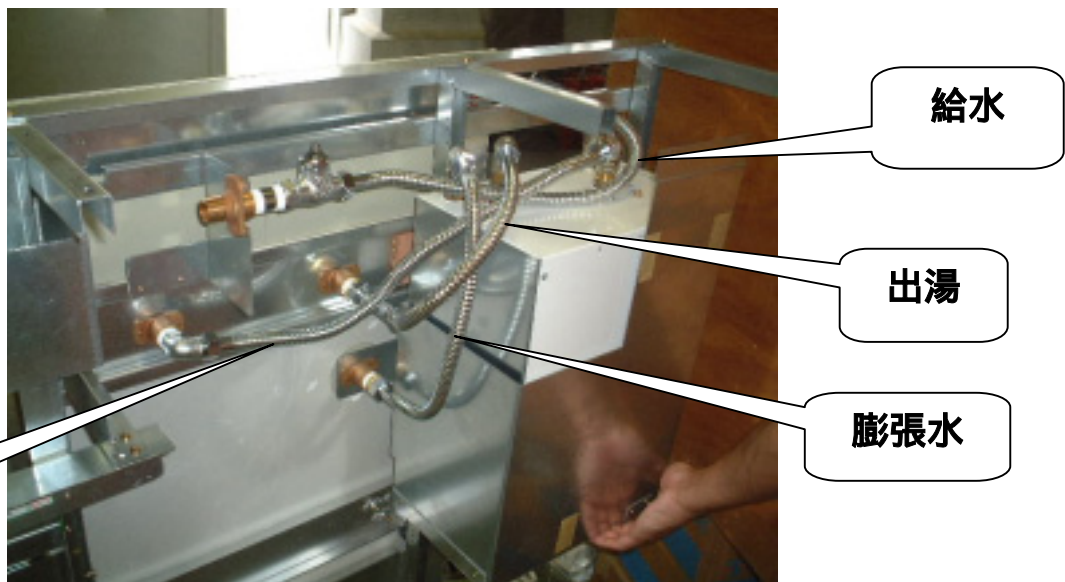
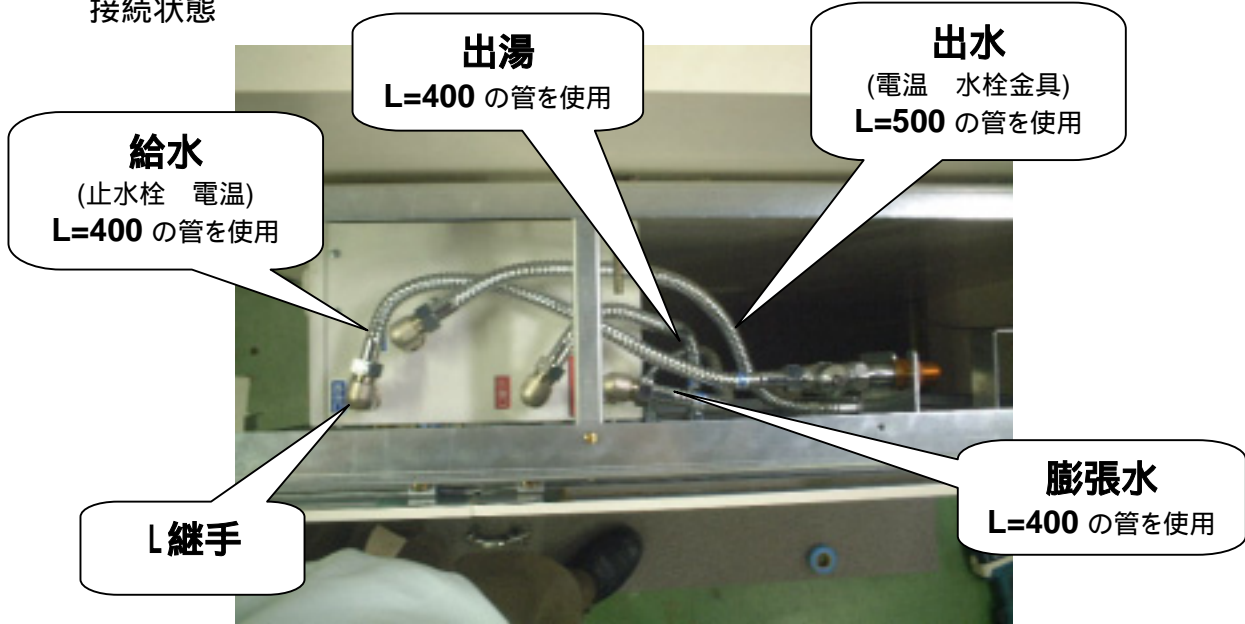


・固定アングルで、電気温水器を固定します。



・同梱のフレキ管とし継手で給水・給湯廻りを接続します。  
・接続の仕方は次項参照ください。

接続状態

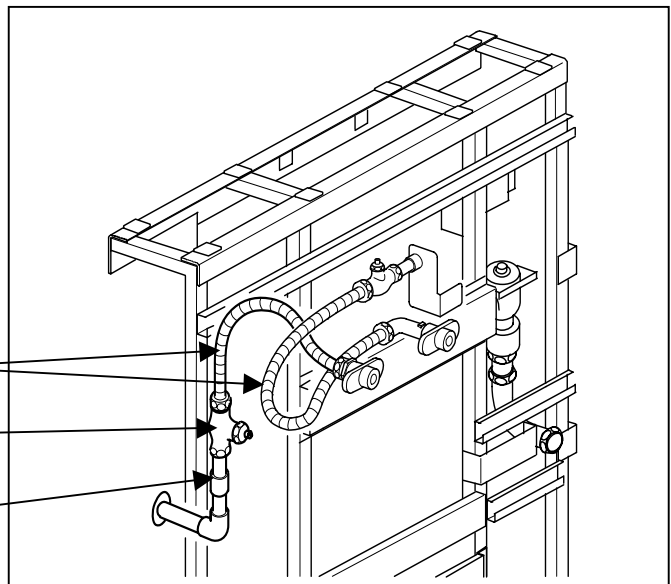


## STEP 9

給水・給湯管の接続（電気温水器なしの場合）

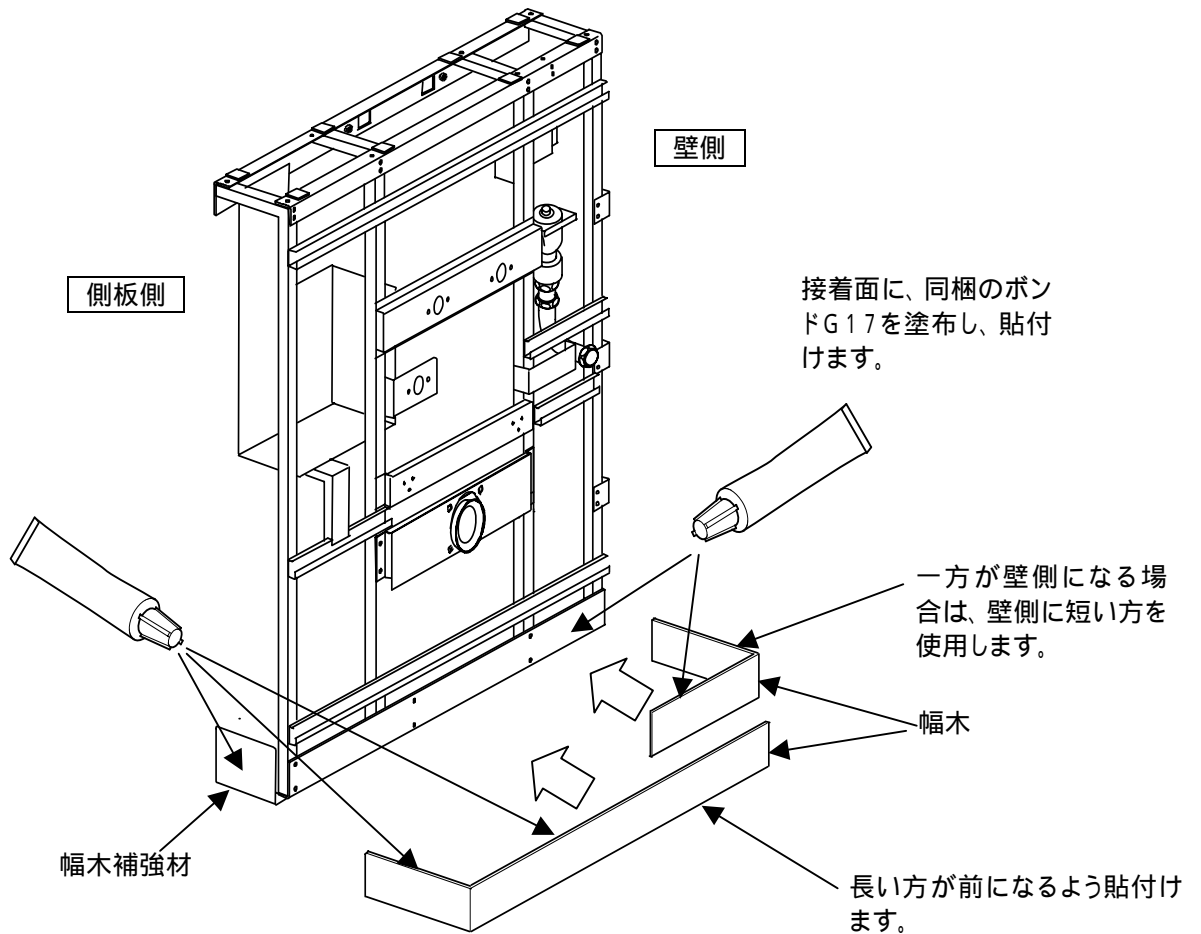
・同梱のフレキ管、止水栓を使用し、右図のように給水・給湯管を接続します。

フレキ管(製品同梱)  
止水栓(製品同梱)  
給湯管(現場配管)



# STEP 10

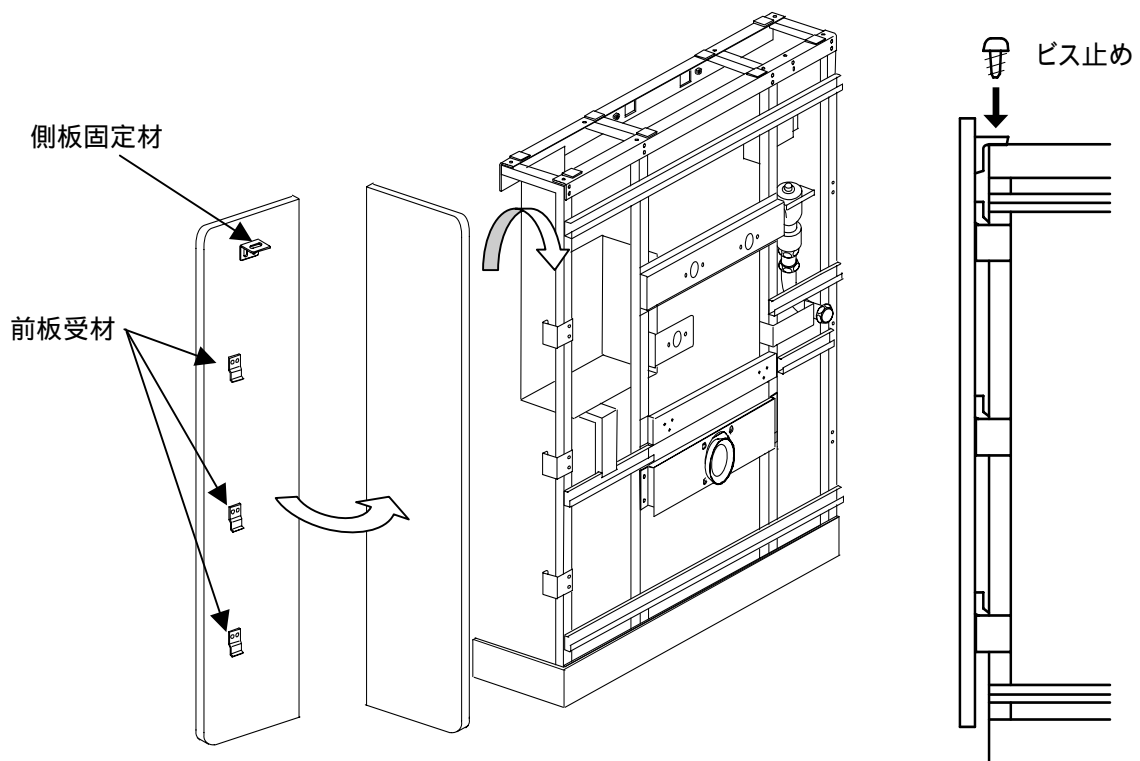
## 幅木の取付け



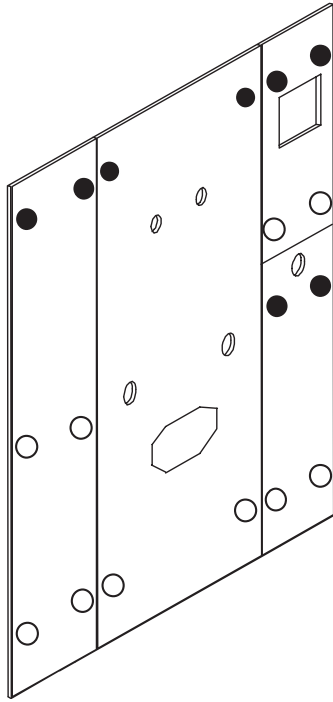
# STEP 11

## 側板 (UTR129 別売品) の取付け

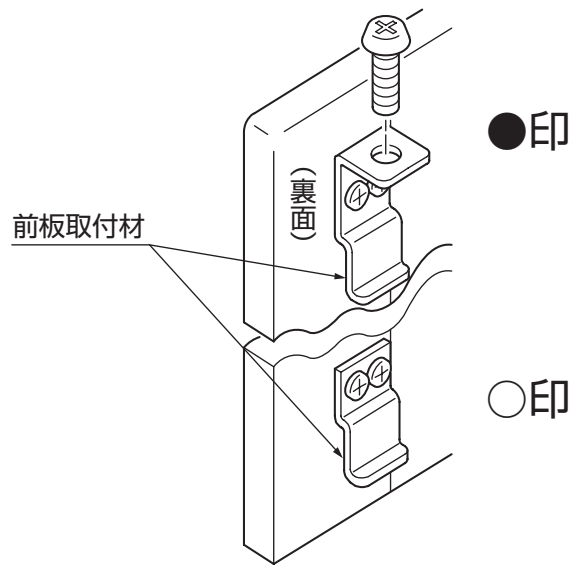
必要な場合



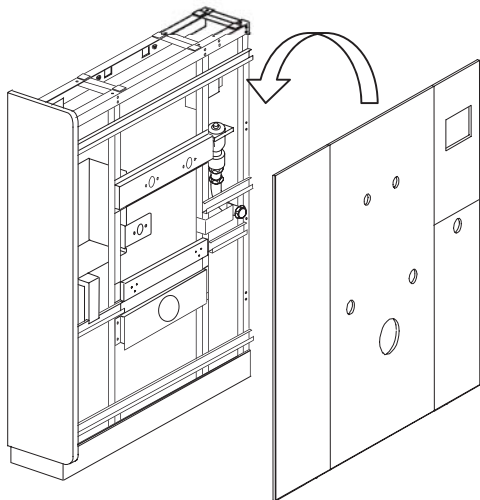
## STEP 12 前板取付材の取付け



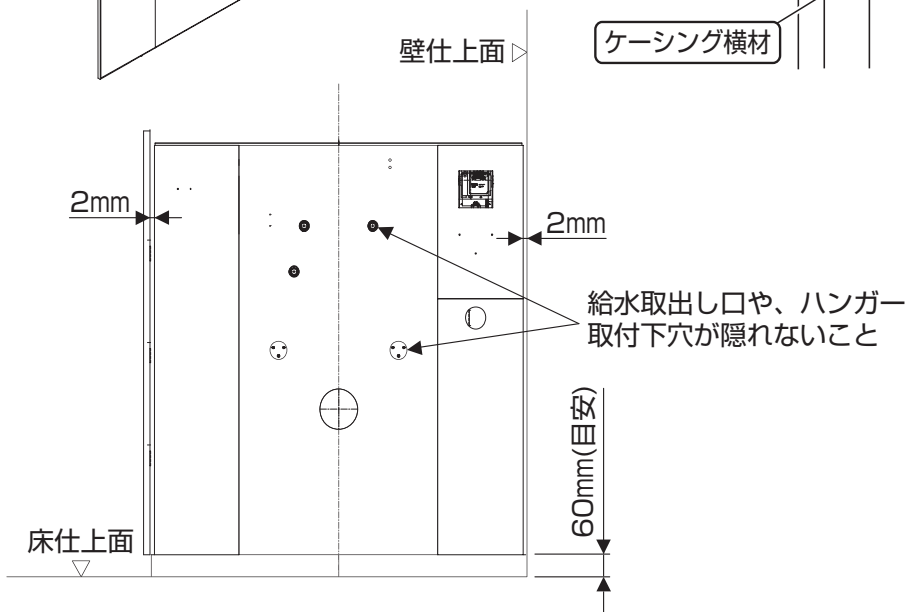
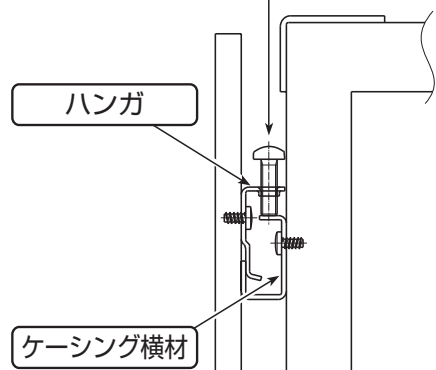
・前板裏側の下穴に、前板取付材を取付けます。



## STEP 13 前板の取付け・調整



調整ボルトを+ドライバーで右に回すと、前面板が上がります。



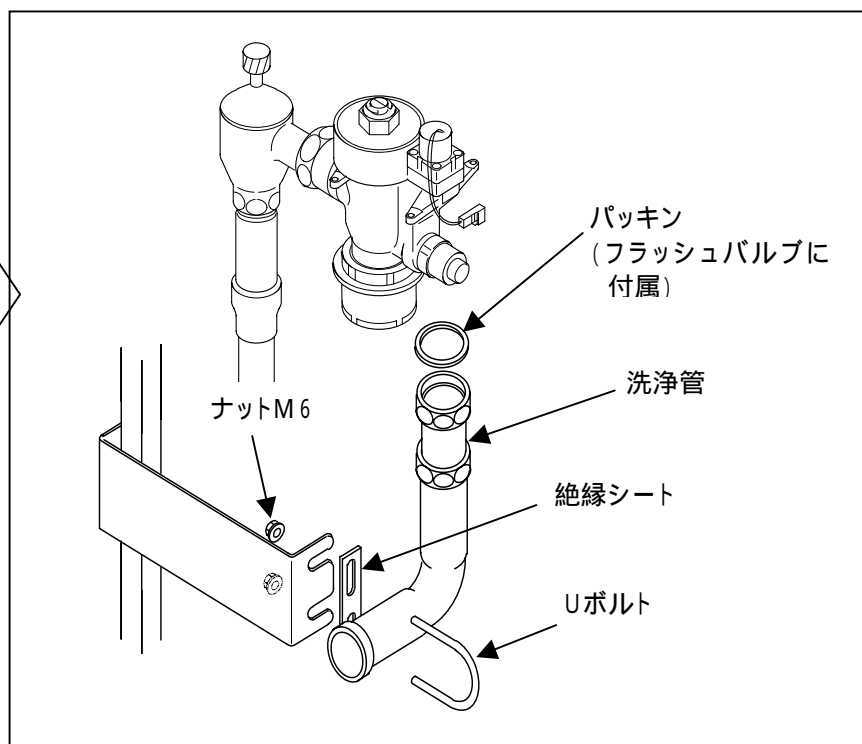
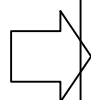


## STEP 14

## 洗浄管の取付け



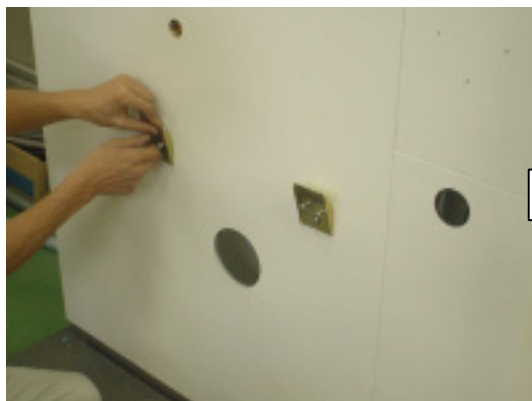
・タッチスイッチ部の前板を一旦、取外します。



・同梱のUボルト、ナットM6、絶縁シートで、洗浄管を取付けます。

## STEP 15

## バックハンガの取付け

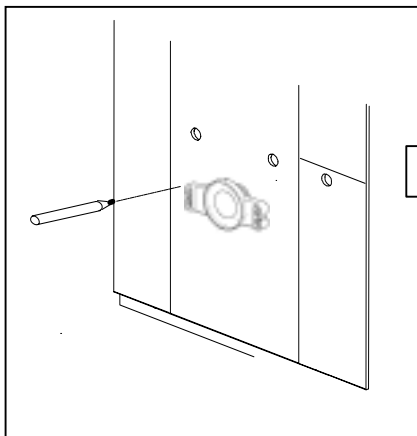


本体の溶接ナットをつぶさないよう、手締めでねじ込んだ後、工具で締め込みます。

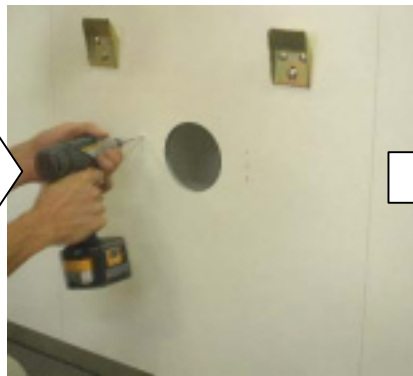
## STEP 16

### 排水フランジの取付け

排水フランジ同梱の施工説明書も併せてご参照ください。



・最初に排水フランジを排水管末端に差込み、ビス取付位置をけがきます。



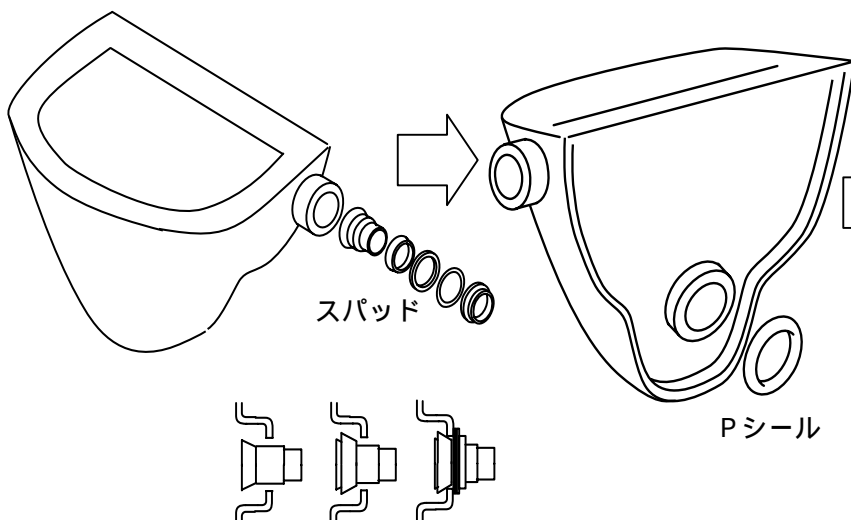
・前板、フレームまで貫通させて下穴を開けます。  
(ドリル径：5.5mm)



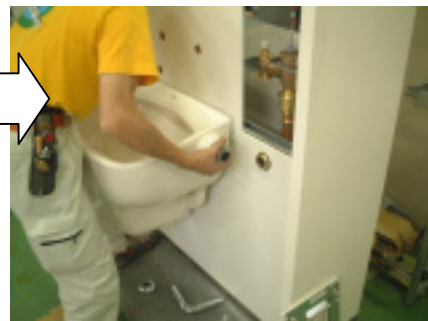
・フランジ付属のビスで固定し、ボルトを取付けます。

## STEP 17

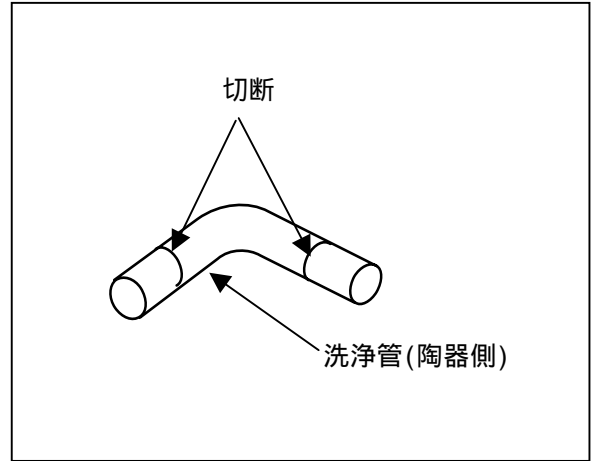
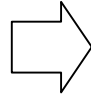
### 壁掛汚物流しの取付け



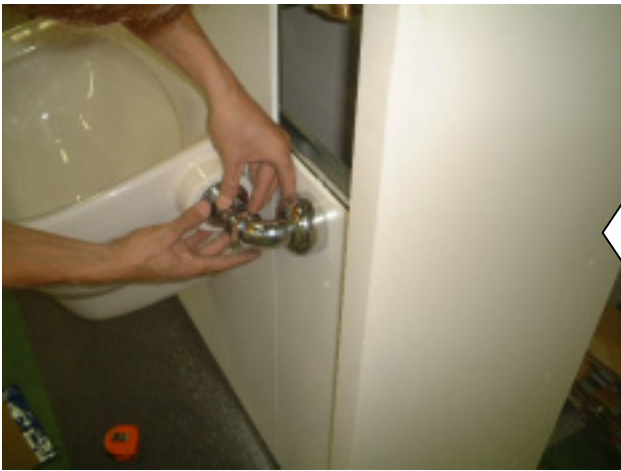
・汚物流しにスパッド・Pシールを取付け、



・本体のバックハンガに引掛けます。



・洗浄管（陶器側）を、スパッドや洗浄管に合わせて適切な長さに切断し、



スパッドに入りづらいときは、スパッドの鍔付ナットをゆるめ、陶器の中に少し入り込ませながら接続してください。

・カバー、袋ナット、パッキン、スリップワッシャを取付け、スパッドと洗浄管（フレーム内）とを接続します。

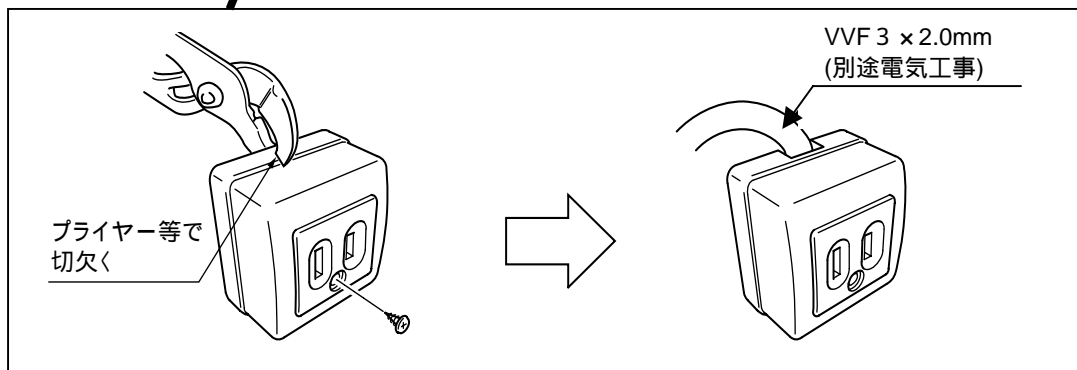
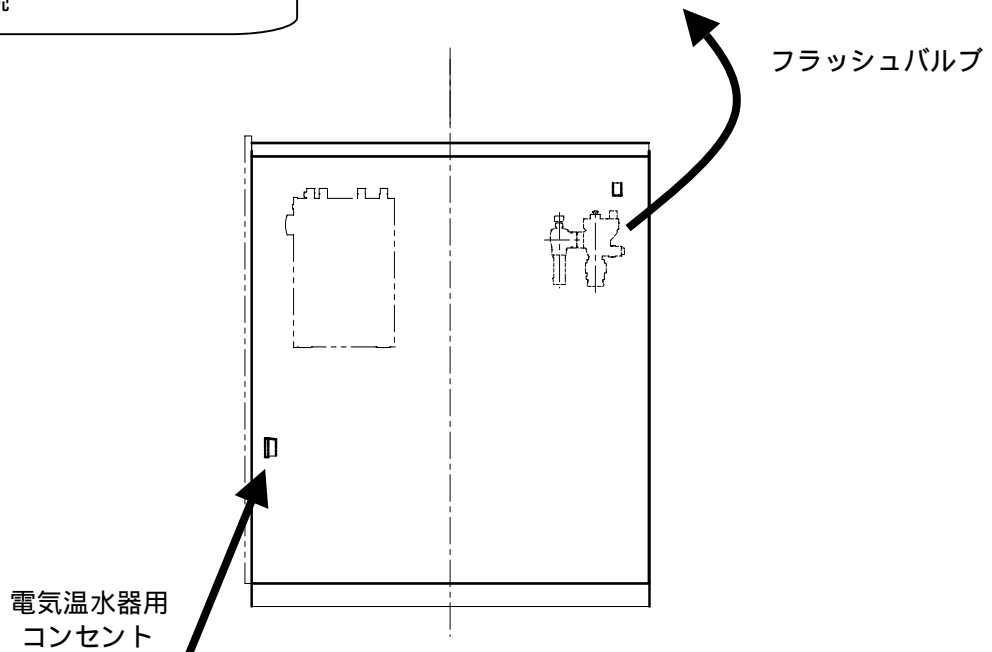
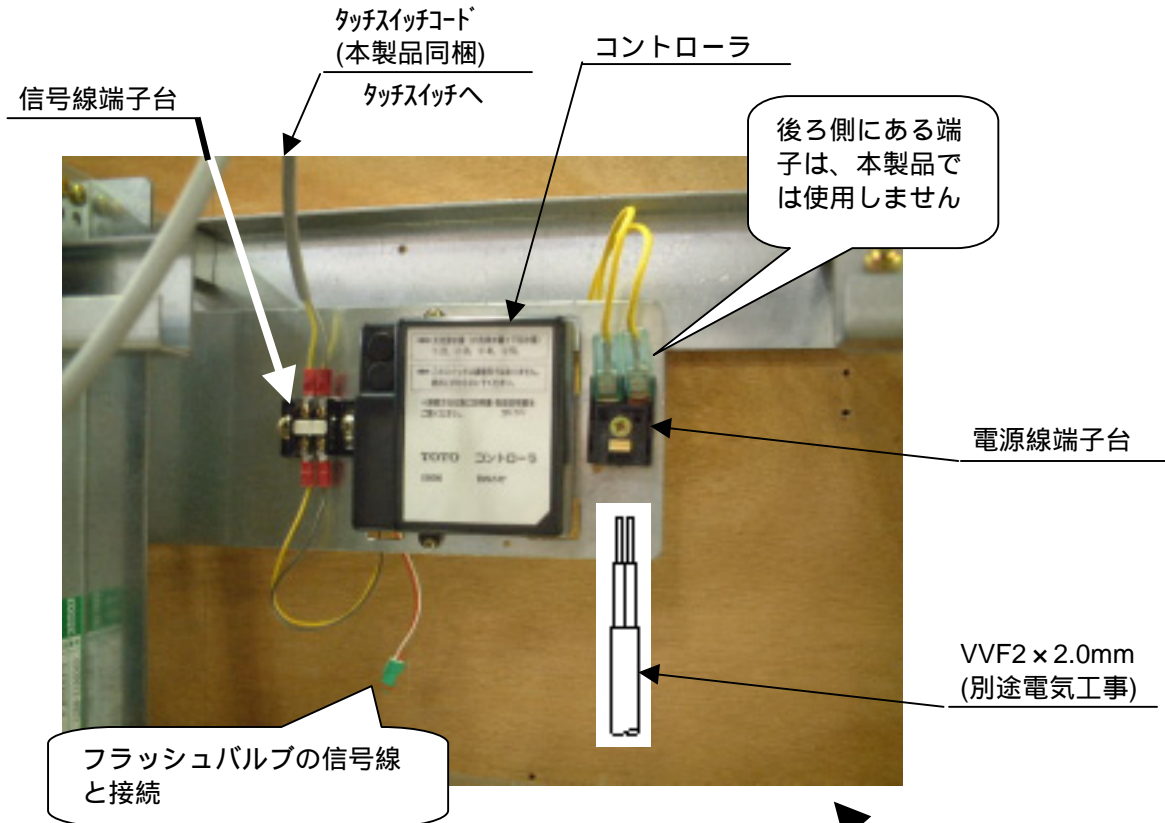


・袋ナットを締付けます。

**チェック** カバーを前に動かしすぎると、カバーがゆるむおそれがありますので、なるべく前板から離さないようにしてください。

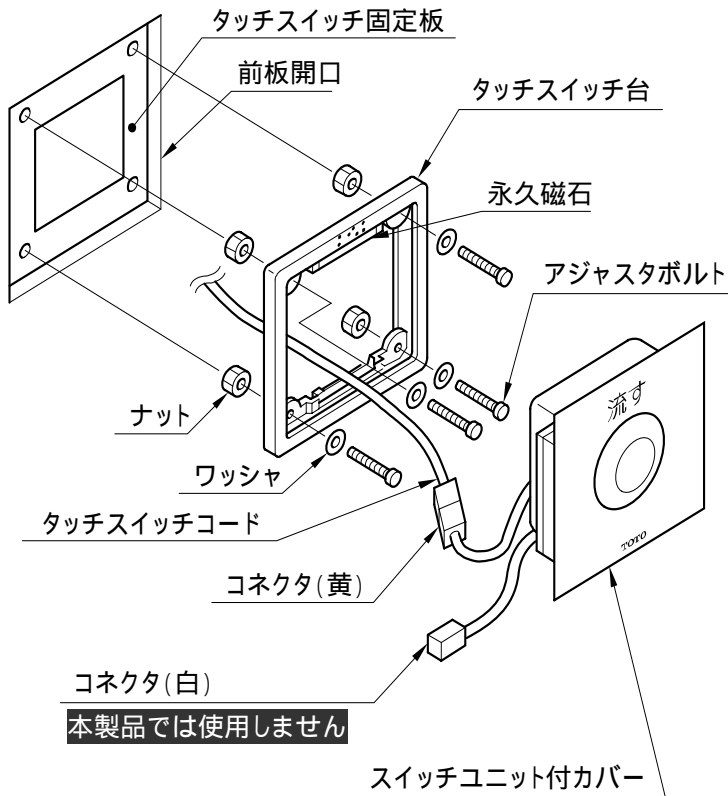
# STEP 19

## 結線作業



## STEP 20

## タッチスイッチの取付



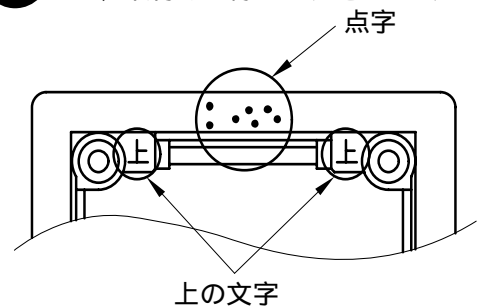
タッチスイッチ固定板に、タッチスイッチ台を固定します。

タッチスイッチコードとタッチスイッチのコネクタを接続します。

スイッチユニット付カバーを永久磁石の部分に吸着させ、タッチスイッチ台に確実に取付けてください。

**チェック** タッチスイッチ台にそりが出ると、スイッチユニット付カバーがガタついたり、器具を破損したりしますので注意してください。

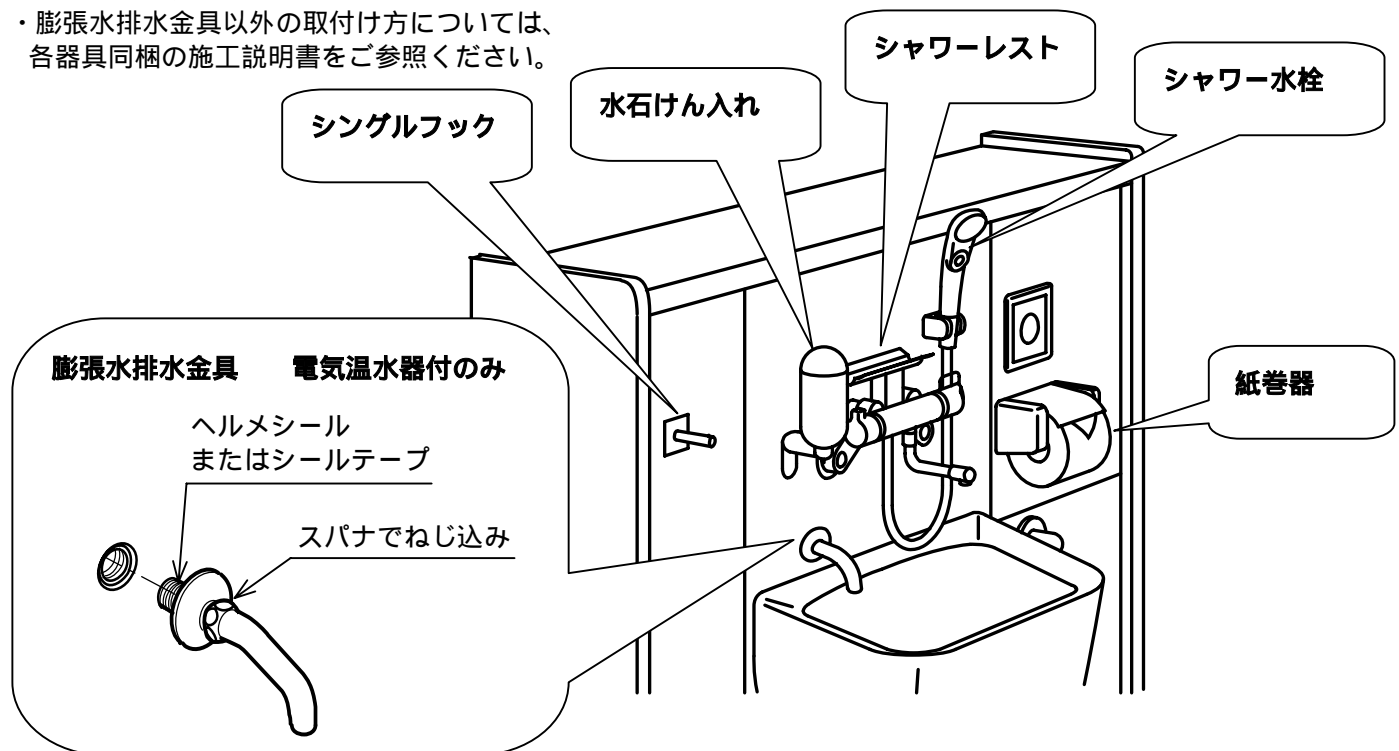
**チェック** タッチスイッチ台は方向性がありますので、取付けの際には注意してください。



## STEP 21

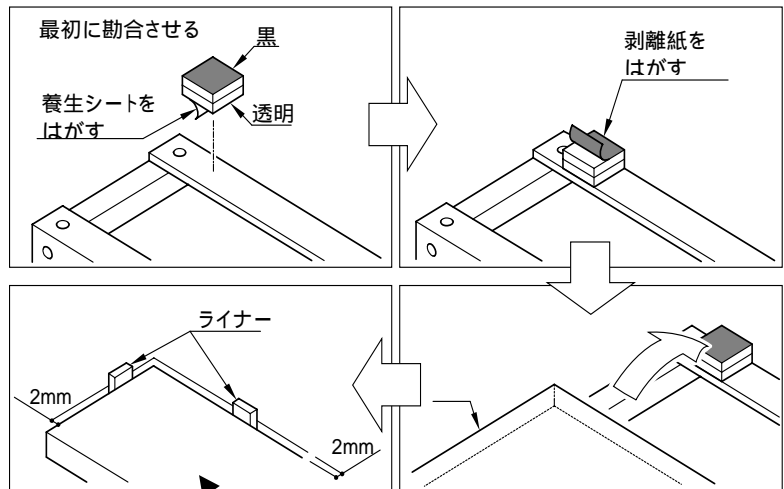
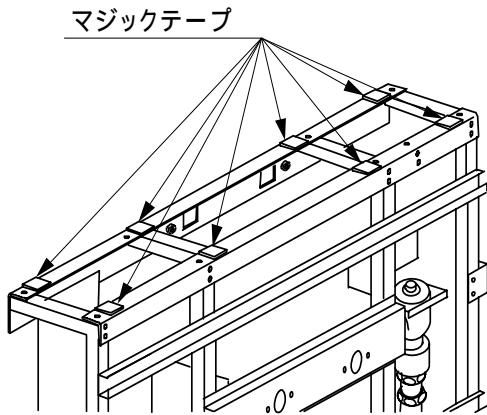
## 各機器類の取り付け

- ・各水栓金具、アクセサリ類を取付けます。
- ・膨張水排水金具以外の取付け方については、各器具同梱の施工説明書をご参照ください。



## STEP 2 2

## 甲板の取付け



- ・甲板と壁とのすき間が2mmになるよう、予めライナーをはさみ、甲板を上からそっと押し付け、上から軽くたたいて貼付け固定します。

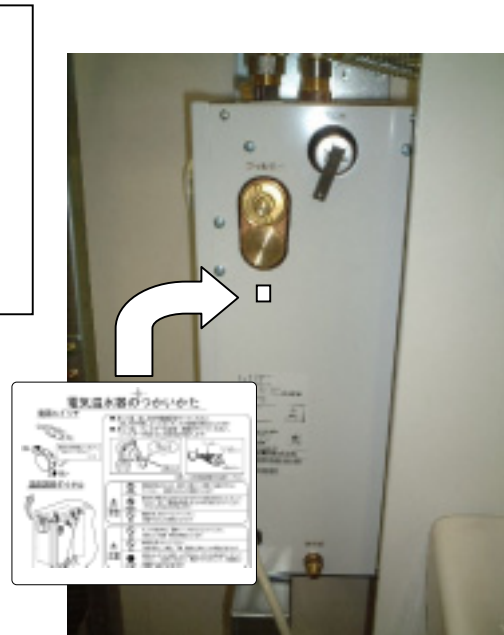
## STEP 2 3

## 電気温水器注意シートの取付

### 電気温水器用注意シートの取付け



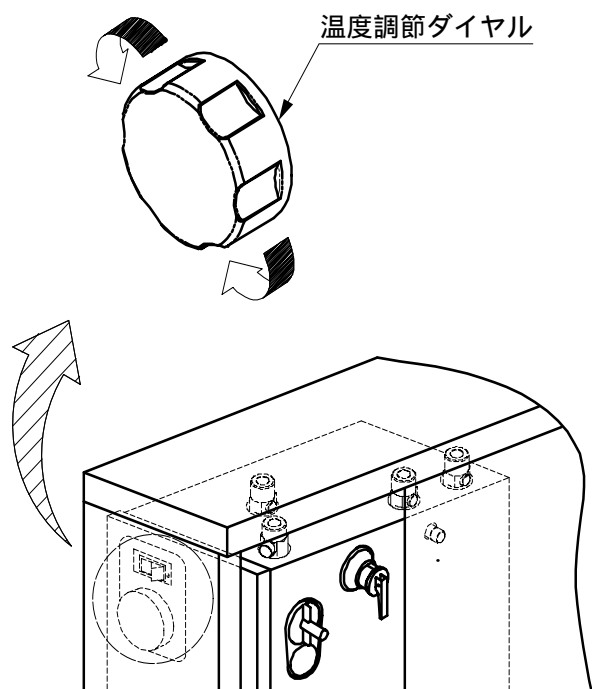
- ・付属のフックを電気温水器に貼り付けます。貼付け位置は、フィルターの下あたりです。



- ・製品に同梱の注意シートを、フックに引掛けます。

## 取付完了後の確認

### 温度調節ダイヤルの確認



- ・温度調節ダイヤルが最高温度側「高い」側いっぱい  
に回っているか、確認してください。

### 通水試験

通水試験は、通水後の給・排水系統、さらにそれらと器具の接続部分の漏水の有無を確認する大切な作業です。

#### (1) 通水試験のポイント

- ・通水試験は事前に全ての器具、配管等の連結部が完全に接続されているか確認した後、実施して下さい。  
また、電気配線についても間違いがない事を確認後、通電するようにして下さい。
- ・通水試験については、建築・設備担当者または、責任者の承認、指示を受け、その立会いのもとで実施して下さい。  
併せて試験結果を検査表として整理し、立合い者のサインをもらっておくと良いでしょう。
- ・通水試験時には必ず、2名以上の人員を配備しPS内元バルブ開閉者とトイレパックの漏水確認者とに分かれて作業  
して下さい。もしも元バルブ以降の配管・器具の外れ、又は接合部からの大きな漏れが発見された場合に、ただちに  
元バルブ開閉者へ合図・連絡を行うことで速やかな対応ができ、事故を最小限に食い止めることができます。ぜひ守っ  
て下さい。
- ・元バルブ開閉は静かにゆっくりと開閉して下さい。
- ・PS内には他にもいろいろな配管、バルブ類がありますので、間違わないよう良く確認して開閉をして下さい。
- ・初期通水の場合、配管工事上の異物が混入していることがあるため、各器具部で詰まり、嘔みこみが発生し、正しい  
流量・作業が確保されないことがありますので注意して下さい。  
(止水栓・スパウトのフィルター・網目に詰まった異物はブラシ等で取り除いてください。)

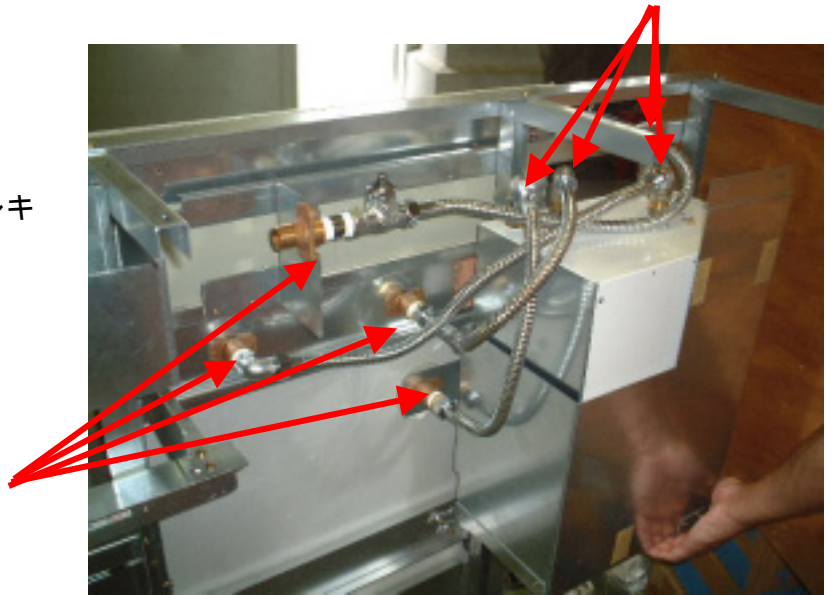
#### (2) 必要な水圧

- ・0.07MPa以上(流動時)の水圧が必要です。(最高水圧0.75MPa.)

<チェックポイント>

下記確認項目に加え、各器具同梱の施工説明書にも従ってください。

- フラッシュバルブ一次側の漏水確認
- 洗浄管・スパッド部の漏水確認
- シャワー水栓の給水脚廻りからの漏水確認
- フレーム内のエルボ・ニップル・フレキ管袋ナットからの漏水確認
- 電気温水器のL継手からの漏水確認（4ヶ所）
- 排水まわりの漏水確認



・施工検査または引き渡し時には、次にあげる資料をとりまとめて、お客様にお渡しください。

- 1 トイレパックの取扱説明書(最後のページに必要事項をご記入ください)
- 2 附属器具の取扱説明書
- 3 附属器具のメンテ用治具

・使用方法もご説明ください。

・説明書等の手渡しができない場合は、工事完了後目立つ所に置いてください。